

# 朝鮮における政治道徳的刺激と物質的刺激の正しい組み合わせとその適用について

朝鮮社会学者協会 研究員 李正花

朝鮮の社会主義に対する正しい理解を行うことは、北東アジア、ひいては世界の人々との友好関係を発展させ、経済協力を活性化していく上で非常に意義が大きい。本稿では朝鮮の社会主義に対する理解を助けるために、多くの人々が関心を持っている問題の一つである社会主義朝鮮における政治道徳的刺激と物質的刺激について論じようと思う。

政治道徳的刺激と物質的刺激を正しく結合させることができ、朝鮮での社会主義管理原則のひとつになっている。今日、朝鮮の社会主義では、勤労者に対する政治道徳的刺激と物質的刺激を正しく結合させ、社会全般に適用することで、社会をその本質的要求に合うように建設しようとしている。政治道徳的刺激と物質的刺激を正しく結合させ、社会全般に適用していくことは、政治道徳的刺激を主とし、そこに物質的刺激を正しく結合していくことである。

偉大な指導者金正日同志は、「政治道徳的刺激を主としながら、そこに物質的刺激を正しく結合させることは、人民大衆の革命的熱意と生産意欲を高め、社会主義建設を力強く進めることのできる最も正しい道である」(『金正日選集』第1巻、p. 223)と指摘している。

朝鮮では、社会主義建設において何よりも政治道徳的刺激を主とする。政治道徳的刺激とは、政治事業を通じて勤労者の労力的な熱意を盛り上げていくことを指す。政治道徳的刺激は、社会主義の勤労者が、社会の主人であるとの高い自覚をもち、革命的熱意を出して働くように引き立てる刺激形態であり、政治的方法で勤労者の思想意識を刺激する形態である。政治道徳的刺激は、社会主義社会で新しく提起された問題である。社会主義社会は、古い社会を否定して生まれた社会であり、資本主義社会とは質的に異なる新しい社会である。社会主義社会は、集団主義に基づいており、勤労者の同志的な団結と協調が、社会関係においてその基本をなす。

人民大衆が国家の主権と生産手段の主人となり、人々が社会的環境と目的、利害関係の共通性により、思想意志的

に団結しながら同志的に助け合っていくことに、社会主義の本質的な特徴がある。社会主義を、その本質的特性に合わせて管理し、その優越性を発揚させようとすれば、政治道徳的刺激を強化すべきである。政治道徳的刺激を前面に出し、勤労者全体が主人らしい立場と態度をもって、労働に誠実に参加するようにしてこそ、生産が拡大し、経済管理が円滑に進み、すべてのことが順調に行われうる。このような考え方から、朝鮮では、社会主義建設において政治道徳的刺激を主としながら、そこに物質的刺激を正しく結合させている。

勤労者に対する政治道徳的刺激の手段は、彼らの思想教育事業と労働に対する政治道徳的評価である。まず、勤労者に対する思想教育事業についてみてみよう。朝鮮では、勤労者に対する思想教育事業を通じて、彼らに自らの働く目的とその意義をしっかりと認識させ、主人らしい自覚をもたせ、革命的熱意のもとで、与えられた仕事に責任を持って行うようしている。人々を政治思想的に覚醒させ、彼らの革命的熱意を呼び起させた時に、いかに偉大な力が發揮できるかは、朝鮮での社会主義建設の経験が物語る。

戦後復旧建設での厳しい時期に、朝鮮人民が悲惨な生活に耐えながらも荒廃した土地に工場と農村を築き上げたことや、社会主義建設の厳しい時期に多くの人々を驚かせた、千里馬大高潮<sup>1</sup>を引き起こした秘訣は、まさしく政治事業を活発に展開させ、人民大衆の革命的熱意を高く発揚させていた点にある。

祖国と民族の運命を左右する厳しい時期、多くの難關と試練がたちはだかっていた時に、90年代の想像することも難しい「苦難の行軍」<sup>2</sup>、強行軍を乗り越え、強盛大国建設への突破口が見出せた秘訣の一つとして政治事業がある。

朝鮮では、祖国が最も困難な時期に人民軍軍人らが発揮した革命的軍人精神を全国の人々が学び、座ったまま冬眠するのではなく、立ち上がって、難局に立ち向かっていくようにした。革命的軍人精神を見習うための奮闘のなかで、苦難に勝ち、樂園を立てるという「江界精神」<sup>3</sup>が作られた。

<sup>1</sup>【訳者注】千里馬運動とは、重工業を優先的に発展させる方針を貫徹するために、1950年代後半に、鉄鋼生産部門の労働者による自力更生の精神を強調するところから始まった、生産の増大を目指した運動。それにより生産が伸びたことを千里馬大高潮と表現している。

<sup>2</sup>【訳者注】北朝鮮の経済状況が最も厳しかった1996年1月から2000年10月まで続いたキャンペーン。

<sup>3</sup>【訳者注】慈江道江界市で見られた自力更生による生産回復に習おうとのスローガン。同名の小説もある。

続いて、自力更生の烽火である「城鋼の烽火」<sup>4</sup>、「羅南の烽火」<sup>5</sup>が激しく燃え上るようになった。全国には、江界精神がみなぎり、自力更生の烽火が社会主義建設の前線ごとに燃え上がるよう、政治事業を円滑に行つた結果、全国のあちこちで集団の創意工夫と大衆的英雄主義が高く発揚されたのである。これより、朝鮮はようやく苦難と試練を乗り越え、自主的な人民の尊厳を守ることができ、社会主義建設を全般的に活性化することができた。

朝鮮での勤労者に対する思想教育事業、政治事業は「千里馬運動」、「三大革命赤旗争取運動」<sup>6</sup>、「隠れた英雄の模範に学ぶ運動」<sup>7</sup>、「先軍革命総進軍」<sup>8</sup>など多様な大衆運動を通じて進められてきたが、社会主義建設の段階ごとに、大衆運動の実効性はかなり高くなつた。

大衆的思想改造運動であり、かつ革新運動である、多様な大衆運動を展開する過程で、人民大衆は集団主義のみが集団の団結と協力を強め、集団の全構成員の創造的熱意を高められることを悟り、社会と集団のために、すべてを捧げて働き、集団の自主的 requirement と、個人の自主的 requirement をともに実現することができた。また、集団主義に基づいた社会主義社会の主人であるという自覚をもち、すべての人々が労働を最も神聖かつ名誉あるものとし、祖国と人民のために、社会と集団のために、自らの力と知恵を捧げて働くことを、崇高的な義務として認識している。政治事業を強化して勤労者が自覚的に働くようにするのではなく、お金のために働くようにしては、大衆のなかで創意工夫は生み出されず、集団的英雄主義が発揚されえない。

朝鮮では、思想教育事業とともに、労働に対する政治道徳的評価を下し、人々の革命的熱意を引き出している。労働に対する政治道徳的評価は、共和国の最高勲章である「金日成勲章」を始めとした国家勲章と名誉称号を授与し、高く表彰し、国家的な行事および大会に参加させ、さまざまな出版物・報道を通じて広く紹介・宣伝し、國中の人々がそれを見習うようにするなど様々な形式と方法で進められている。朝鮮では、人々の努力の成果について、政治的に高く評価し、新聞、放送、出版物を通じて広く紹介・宣伝し、社会的にも積極的に引き立てて、優遇している。

山林監督員であれ、炭坑員であれ、そして科学者であれ、

自己の人生を誠実に歩んできた人々を時代の英雄としてたたえ、名誉称号も与え、同志のために惜しむことなく命をささげた英雄戦士の姿を見習わせるために母校に銅像を建て、学校の名も彼らの名にちなんで命名するようにしている。

両親がない孤児ら数十人の面倒をみてくれる女性らに、母性英雄の称号も高いクラスの国家勲章も与えて社会的に引き立て、積極的に支援するための措置もとっている。職場ごとにある「栄誉掲示板」に、努力革新者らの写真とともに、その革新内容を紹介し、多くの人々が祝賀し、人々の革新に繋がるようにする。そうすることで、すべての勤労者が高い熱意と自負心をもって、社会主義建設で業績を伸ばすようにしている。

朝鮮人民は、自分の知恵と労力を捧げ、社会と集団に貢献することを、これ以上ない自分の生きがいとして、プライド高く信じ、労働の結果について、物質的評価を受けるよりは、政治道徳的評価を得ることをより価値のあるものだと考える。朝鮮人民が物質的評価より、政治道徳的評価をさらに貴重なものとして考えるのは、彼らが社会的な人間の固有の生命である社会政治的生命を貴重なものとして尊重していることに関連する。

人間は肉体的生命とともに、社会政治的生命をもって生きる存在である。社会政治的生命は、社会的集団から授けられ、集団のなかで維持され、発展していく生命である。人間にとって肉体的生命は貴重なものであるが、より貴重なのは社会政治的生命である。それは人間にとって自主性が生命であるからである。

政治的生命は、社会的存在としての人間の価値と尊厳を規定する。社会政治的生命の要求から離れ、肉体的生命の要求だけを追求すれば、いくら豊かな物質生活を享受できたとしても、それは決してレベルの高い生活とはならず、こうした物質生活は人間の本性と対置される動物的な生活と変わらない奇形的でかつ変態的な生活へと転落してしまう。

人間は、自己の運命を社会政治的生命の母体である集団の運命と結合させ、社会集団のために、献身的に服務し、集団の愛と信頼のなかで生きる時にはじめてレベルの高い

<sup>4</sup>【訳者注】1998年3月、咸鏡北道の城津製鋼連合企業所を訪問した金正日総書記の生産拡大のよびかけに端を発している、逆境を順境に転換させることを推進する運動。

<sup>5</sup>【訳者注】朝鮮労働党が与えた課題を、どんなことがあっても無条件貫徹する精神のこと。咸鏡北道にある羅南炭鉱機械連合企業所の労働者らの自力更生の精神をモデル化したもの。

<sup>6</sup>【訳者注】各職場における、思想・技術・文化各分野における三大革命すなわち革新ぶりを競争させ、優れた成果をあげた職場に対して、『三大革命赤旗』を授与することにより、表彰を行う社会運動。

<sup>7</sup>【訳者注】名誉や報酬のためではなく、陰日向なく党と革命、祖国と人民のために自分のすべてを尽くす人物を模範とする社会運動。

<sup>8</sup>【訳者注】「先軍時代の大進軍」と定義されている社会運動。アメリカとの対立が激化した2005年に本格化した。

人生を歩むことができる。すなわち、人間にとって最も貴重なのが社会政治的生命であり、それを発展させつつ生活することが人間の価値を高め、永生することができる人生であり、人々は社会政治的生命の要求を実現してくれる政治道徳的評価を、物質的評価よりさらに貴重なものと考えるのである。

労働に対する政治道徳的評価を貴重に思うことは、祖国と人民が誇れる偉勳を、勲章とメダルで評価し、子孫代々に気高くもちづけようにして、高尚な風格に、また国の要求に対し、困難で厳しい生活が強いられる辺地の哨所へと躊躇なく赴き、自らの人生をささげる熱き心のなかにも、数えきれないほど多くみられる。紙面上の制約で、ここでは一例のみを紹介する。

朝鮮の北方にある峠である九峰嶺には、家族全員が道路管理をしながら暮らしているキム・ソンニョ一家がいる。雲も休みながら越えていくといわれる北方のひっそりとした峠で、母親と息子、嫁、娘、婿、家族皆が小隊を組み、道路管理工として純潔な汗を流している。彼らの心中に宿っているものは何だろう。それは革命事跡が刻まれ、社会主義建設のために多くの車が往来する峠道をしっかりと管理して、国に役に立ち社会と集団に貢献する、生き甲斐のある人生を発展させようという忠誠、愛國の精神である。

朝鮮では社会政治的生命の要求に応じて政治道徳的評価をより貴重に思う人民達の心を察して、主に社会と集団のためにささげた彼らの労力的遺訓を政治道徳的として高く評価することを主としながら、これに物質的刺激を結合する原則を堅持している。

世界女子マラソンで優勝したチョン・ソンオク選手と世界柔道で何回も優勝したケ・スンヒ選手を知っている人々は少なくないと思う。国では彼らをはじめとする世界選手権大会で優勝して共和国の国旗を翻した朝鮮の誇りである人々の労力的成果を高く評価して、彼らに共和国公民の最高栄誉である共和国英雄、労力英雄名称を与え、人民体育人の栄誉を授けただけでなく、生活用品がすべて用意されている高級アパートと高級乗用車など、物質的な配慮まで与えた。

朝鮮で政治道徳的刺激を先立たせて行くことについての話を終えながら、一つ付け加えたいことがある。それは集団や個別的な人々を対象にする政治道徳的刺激は物質的刺激を排除したり、無視したりせず、一般的に物質的刺激を伴うことである。朝鮮では労働に対する政治道徳的刺激に物質的刺激を正しく結合するための対策も積極的にとっている。

いる。物質的な刺激という場合、これは物質的評価を通じて労働者達の労力的熱意を誘導することを言う。物質的刺激は労働者達の物質的な関心を刺激して労働において熱意を出すように誘導する形であり、物質的方法による労働者達の思想意識を刺激する形である。社会主義労働者達の物質的関心の特性は、それは自己の労働の結果に対する関心であり、集団の利益の中で、個人の利益を考えるという関心性にある。

社会主義社会において物質的刺激は資本主義社会においての物質的刺激とは根本的に異なる。社会主義社会における物質的刺激は、労働の結果に対する物質的評価を通じて労働者達に主人としての自覚を持って熱意と創意工夫を出して、働くように誘導する役割を果たす。社会主義社会においてはすべての人々が社会と集団のために高い政治的熱意を持って働くので、労働の結果に伴う物質的評価を必要とせず、分配においても平均主義を実施するべきだとすることは左傾的偏向である。

社会主義段階において、いまだに少なくない人々は国家的な事業や共同労働を自分の仕事のように思っておらず、能力によって働き、需要によって分配できる程度まで生産力が発展していない。また、労働階級と農民の差、労働者達の労働条件と物質文化生活における差をはじめ、様々な差が残っている。したがって、社会主義社会の過渡的性格にあわせて、主に政治道徳的刺激をしながらも、それに物質的刺激が支えられてからこそ人々の革命的熱意を高められるし、生産意欲も刺激できる。

社会主義社会の条件にて平均主義を実施できないことは、以前ソ連でソビエト政権が樹立された時のコミュニケーションの経験から既に実証されている。もし、社会主義社会の現実と歴史的経験に目をそらして、労働の結果に対する考慮がないまま、平均主義的に分配するのであれば、労働者達の生産意欲を落とすことになり、働くことを嫌って、少ない労働でも多く分配してもらおうとする現象が生まれ、社会主義建設に大きな支障となる恐れがある。

朝鮮では、社会主義社会の特性に合わせて、物質的刺激の手段と形をよく選択して適用している。朝鮮で、物質的刺激の手段としては、労働に対する分配横杆<sup>9</sup>と原価、収益性などの商品価値横杆があるが、ここでの基本手段は労働による分配である。朝鮮では労働定量事業と労賃査定事業をしっかりと実施して賞金をはじめとする追加的な報酬支払いの形をうまく利用して社会主義分配の原則を徹底的に貫いている。

<sup>9</sup>【訳者注】横杆とはテコのことである。

労働生産評価の基準と生活費<sup>10</sup>規定を正確に作って、労働の量と質に従って、たくさん仕事をした人にはたくさん配分され、少し働いた人にはそれに応じて少なく配分されている。これは、人々の生活意欲を刺激すると共に、働くことを嫌う古い思想に反対するための重要な統制手段となっている。大変で、骨の折れる部門で働いている労働者達には、他部門で働いている労働者よりも高い物質的待遇を与えている。これは、人々をただ物質的に刺激するためではなく、彼らが他部門で働く人々より肉体的であれ、精神的であれ、より多くの精力を消耗するため、それを補充し、自分の仕事をよりうまくできるようにするためである。平均主義的分配原則ではなく、社会主義分配の原則を徹底的に守ることによって、朝鮮では骨の折れる仕事をする人と、そうでない仕事をする人、仕事をたくさんする人と、そうでない人、技術技能水準が高い人と、低い人に対する物質的評価が正確に行われている。

物質的刺激は個人だけを対象としていることではなく、集団を対象としながらも積極的に進めている。朝鮮において、社会主義国営企業所の管理運営方法としては、独立採算制が実施されている。独立採算制とは、工場、企業所が国家の中央集権的な指導下で、経営上の相対的独自性をもち、経営活動をしながら、収入と支出をあわせ、国家に利益をもたらす社会主義国営企業所の計画的で、かつ合理的な管理運営方法である。

国では、工場、企業所が相対的独自性をもち、経営活動を行うことのできる独立採算制を実施して、下部単位に対する中央集権的指導を強化しつつも、かれらの創意工夫を充分に発揚させている。過渡的社会の特性に応じて、国営企業所が国家の統一的な指導下で、物質的関心性の原則にしたがい、企業管理の合理化を図っている。

国の経済状態が困難な今の時期に、内部予備と源泉を動員して、生産を拡大させることは、経済の活性化にとってきわめて重要である。そこで、わが国は、個別的生産単位らが自体源泉を動員<sup>11</sup>して生産を進め、すべての生産物の価格を国が定めた基準に沿って、自体で決めるようにしている。なお、生産能力の余裕を生かして生産物を拡大し、そのなかで国家企業利得金<sup>12</sup>を納めた残りを自体で消費できるとし、2倍程度まで自体的に生活費を増やせるように

した。なお、技術革新者、創意考案者、計画超過完遂者など、努力革新者らには特別な賞金を与えている。

朝鮮では、物質的刺激を重要視しながらも、それを絶対化しない。社会的な労働に対する政治的評価を軽視し、お金と物質的報酬による評価を主とし、人々を動かそうとすれば、勤労者のなかでの同志的な協調と団結を弱め、個人の利己主義を助長させ、やがては集団の利益を侵害し、社会制度を否定する現象をもたらしうる。個人主義に基づく社会が抱える諸問題は、物質的刺激の面だけを強調したことからきている面も少なくはない。個人主義のもとで社会が抱える、不治の病となる政治生活での反動化、物質生活での奇形化、文化生活での貧窮化などは、このような社会が人々の精神道徳的風格を漂わせるような政治道徳的刺激をきわめて軽視し、物質的関心を高め、人々が物質的 requirementだけを追求するという物質的刺激の一面を強調することにより生じた社会悪である。

物質的刺激だけでは、勤労者の生産意欲を高め、彼らの創意工夫を発揚させることに限界がある。今日の朝鮮では、軍事服務中に負傷した栄誉軍人と青春男女らが家庭を築き、生きがいのある人生をともに歩む、美しい慣習が日々増えている。また、戦争で荒廃した祖国の山を40余年にわたり、代々引き継ぎ、樹林化していく山林監督員もいて、平城市万景台区域先駆者洞の女性、ソ・ヘスク氏のように、両親をなくした子供らを十数人から100余名まで育て上げ、祖国の防衛哨所に立たせ、社会主義建設の現場に送り出す女性らが、祖国全土にわたって数多く存在する。物質的刺激だけで、社会と集団のために自己をささげるという高い自覚をもち今を生きる人のように、美しい人間を作り上げることができるだろうか。

今日の社会主義朝鮮における真の姿は、物質的刺激に先立って、政治道徳的刺激を重視して得た高貴な結実である。朝鮮では今後とも人々の思想意識水準が高まり、社会発展が進むにつれ、政治道徳的刺激と物質的刺激を正しく結合させ、より高い水準で適用していく。そして、社会主義建設で人民大衆の革命的熱意と創造的積極性をさらに高めていくだろう。

[朝鮮語原稿をERINAで翻訳]

<sup>10</sup>【訳者注】給料のことである。

<sup>11</sup>【訳者注】自体源泉の動員とは、中央に依存することなく各生産単位がみずから、生産にともなう諸問題を解決することを意味する。

<sup>12</sup>【訳者注】北朝鮮における国営企業が政府に対して納付するお金。日本の法人税に相当するものである。詳しくは[http://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Report/pdf/2004\\_03\\_03.pdf](http://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Report/pdf/2004_03_03.pdf)を参照されたい。